

建設的なご意見をお寄せください。

市長ホットライン

4月26日(木)午前10時~11時
(0120)681・815 フリーダイヤル



黄色い帽子贈呈式で

石川市長

新年度予算を語る

市長 石川 錬治郎



「新世紀特別枠」でメリハリ

と思いますが、特徴的なことを述べてみましょう。

先ず予算の規模ですが、「一般会計」「特別会計」「企業会計」合わせて二千四百一億六千二百五十一万一千円で、昨年比三・六％のマイナスです。これは、焼却炉建設事業や中高一貫校建設などの大規模事業が昨年の段階ではほぼ終了したためで、市民生活関連の予算が減ったわけではありません。また、企業会計からはガス局の民間移管により「ガス事業会計」がなくなりました。

そして、今年度予算の特徴は、職員連のアイデアを中心に「新世紀特別枠」事業を設定したことです。この中には、ごみのリサイクルの一環

寒さ厳しく、雪が多かった長い冬も過ぎ去り、新入園児、新入学生、新入社員など「新」と冠の付く人々が目立つ春、四月になりました。市の仕事も四月から、「秋田市新世紀プラン」にもとづく平成十三年の新年度事業として始動しております。三月議会で承認された予算の大意について、市民の皆さんはご承知か

として、希望する市民に「生ごみ処理機」の購入費を補助する事業や、IT革命に対応するため、約一万二千人の市民を対象に、公民館などで「情報通信技術基礎技能」の無料講習会を開く事業などがあります。また、川尻小学校をモデルに、特別教室などを地域開放し、地域に開かれた学校づくりを進める、すくつ

る・コミュニティ21事業」も「新世紀特別枠」の予算で行います。

このように、今年度予算は、市民生活に密着し、市民の暮らしと産業に役立てることを基本にしながらも「新世紀特別枠」という二〇〇一年ならではの性格づけをした内容となりました。心配される財政健全化の問題ですが、今年度は、一般会計では市債(借金)を三十一億円も減らして、一般会計の中に占める比率を八・四％とするなど、引き続き健全財政を維持しております。

以上、新年度事業概要の一部ですが、詳細は、今号の特集でもお知らせしておりますので、ご覧ください。



市役所窓口をもっと便利に

福祉事務所棟を建設 市民課窓口 受付カードシステム

現在市役所本庁舎と離れ離れになっている福祉事務所を、市庁舎に隣接する北側駐車場に新たに建設します。市民課や市税、年金関係の窓口のある市庁舎一階と渡り廊下で結び、窓口をまとめることで、各課にわたる手続きがスムーズに行えるようになります。来年一月から利用できる予定です。

また、市民課窓口には、受付番号カードシステムと表示パネルを設置します。表示パネルには、証明書ができた人がの番号を表示。混み具合を知ることができ、席を外しても呼び出しの有無がわかります。

